

---

# 一宮地区公共施設再編整備基本計画

## 【概要版】

---



令和5年3月  
豊川市

---

# < これまでの検討経緯 >

## 一宮地区公共施設再編整備基本構想【概要版】 より抜粋

### 1 はじめに

#### 背景及び目的

本市では、公共施設の適正配置と長寿命化を推進しており、豊川市公共施設適正配置計画(令和2年6月改訂)では、リーディング事業の1つとして「一宮エリアの施設再編プロジェクト」を位置付け、一宮地区の公共施設を再編する「(仮称)一宮コミュニティネットワーク構想」の実現に向けて取り組むこととしています。基本構想では、一宮地区の拠点としてふさわしい施設整備のあり方を示すことを目的とします。

### 2 一宮地区の公共施設の現状と課題

#### (仮称)一宮コミュニティネットワーク構想の位置付けと概要

一宮地区の公共施設は、以下の様な課題を抱えています。これらの課題解決のため、早期の公共施設再編整備が求められています。

##### <エリアの現状>

- 施設の老朽化、劣化の進行
- 施設利用率が低く、施設の立地に課題がある

##### <エリアの課題>

- 維持管理費の増加、施設の在り方検討の必要性
- 適正配置の必要性

#### 一宮地区の公共施設の配置及び概要

一宮地区の公共施設のうち、立地、敷地の確保、セキュリティの確保などの点で制約が大きい小中学校及び保育園等を除いた6施設を再編の対象とします。



## 一宮地区の公共施設再編に係る住民アンケート

令和2年10月に一宮地区在住の18歳以上の男女1,000人を対象に、一宮地区における公共施設再編の考え方などについてアンケート調査を実施しました。アンケート回収率は50.8%(508票)でした。

### ◆結果の抜粋

公共施設集約の  
考え方

「できるだけ機能を集約し、1つの中心的な拠点を整備すべき」(25.9%)  
が最も多く選択されました

集約対象施設の  
優先度

- ①「利用者数や利用率の低い施設」(28.7%)
- ②「機能が重複している施設」(19.3%)
- ③「維持や改修に多額の費用がかかる施設」(18.9%)

複合施設が  
どんな場所にな  
れば良いか

- ①「子どもから高齢者まで様々な世代が集まって交流できる場」(61.2%)
- ②「子育て世代の拠り所となる場」(27.2%)
- ③「高齢者がいきいき活動できる場」(24.6%)

複合施設にどんな機能や  
サービスがあると良いか  
についても聞きました

- ◎喫茶店・カフェ・飲食店、◎屋内施設(体育館、ジム・ヨガ教室 など)
- ◎屋外施設(遊歩道、芝生広場 など)、◎交通機関の充実・アクセスしやすさ
- ◎買い物(スーパー・ショッピングモール など)
- ◎子どもが遊んで学べる施設(安心して遊べる場所 など)

## 3 対象敷地

### 敷地概要

新施設の立地は、利便性、歴史性、都市計画の方向性等を踏まえ、現在の一宮庁舎等の敷地への整備が望ましいと考えられます。

一宮庁舎等敷地の概要と現在の利用状況については、以下のとおりです。

敷地概要	
敷地面積	12,263.55 m <sup>2</sup> (消防署一宮出張所の敷地(1,084.29 m <sup>2</sup> )は除く)
用途地域	第2種住居地域 (建蔽率 60%、 容積率 200%)
備考	・市有地 ・駐車台数131台(公用車等64台分含む)

**現在の利用状況の図**

農業者トレーニングセンター

豊川市消防署一宮出張所  
※本検討の対象外

一宮庁舎

市道(2車線)

国道151号(2車線)

敷地出入口  
小学校通学路  
一宮地区地域路線  
一宮線  
豊鉄バス新豊線  
バス停

コミュニティバス

## 4 新施設の考え方

### 再編全体の方向性

市全体の公共施設マネジメントの方針に沿った考え方

- 保有面積とトータルコストの縮減に寄与する（豊川市公共施設適正配置計画）
- 図書館・生涯学習センターは、都市機能誘導区域への誘導に配慮する（豊川市立地適正化計画）
- 施設の利用率、エリア内で重複する機能、今後の維持や改修にかかる費用などを考慮し、複合化等する施設を検討する（豊川市公共施設適正配置計画）
- OSDGs の「11.住み続けられるまちづくりを」に資する取組とする

一宮地区の“地域の活動や多世代交流が促進”されるような拠点を創造するための考え方

**多世代**  
で楽しめる

子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、様々な活動を通じた交流ができる施設

地域の活動・多世代交流を  
促進する拠点

**快適**  
に過ごせる

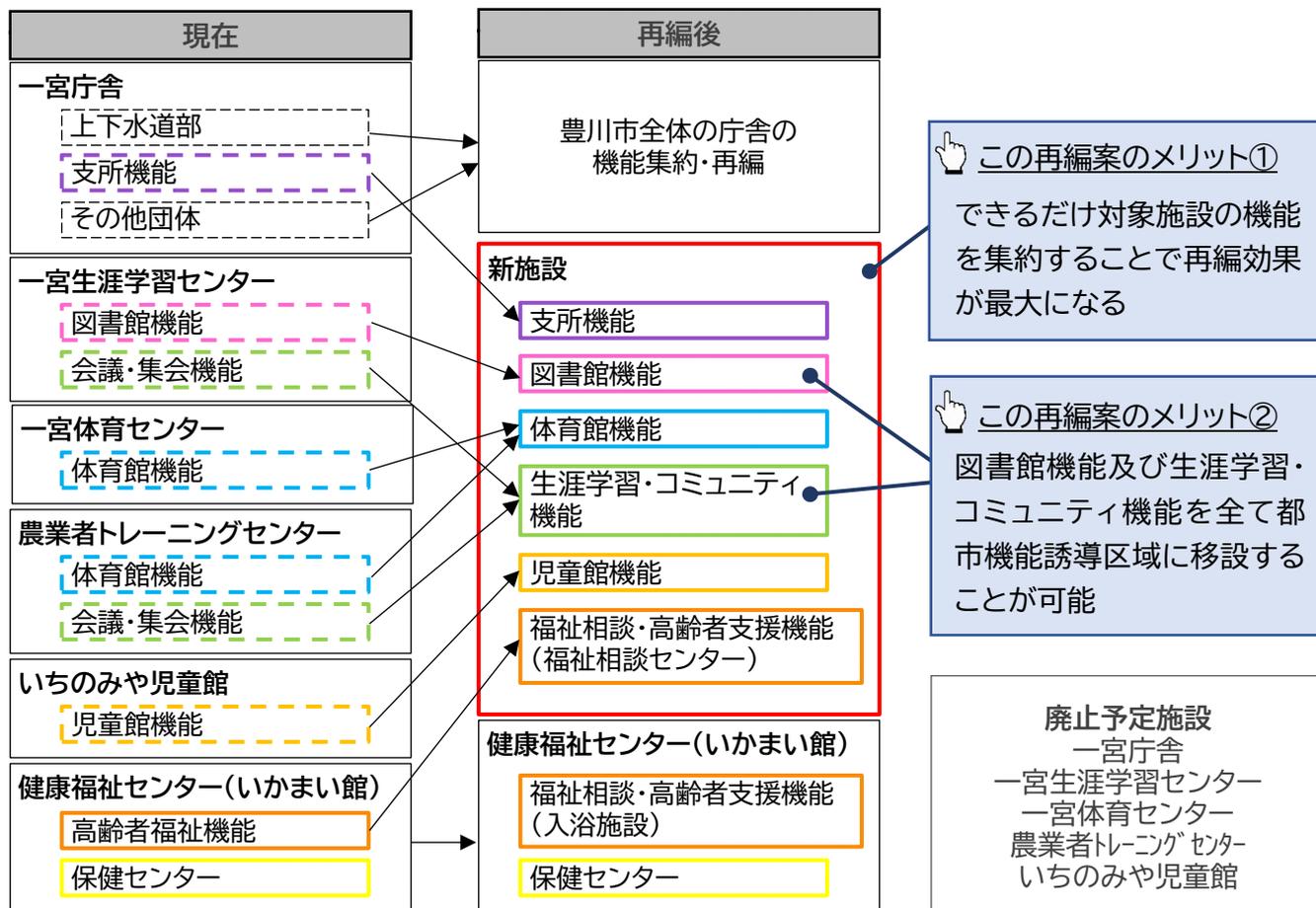
施設内外に快適に滞在できる機能・空間を設けるとともに災害時の継続利用に配慮

**地域**  
に親しまれる

地域の特色が感じられ、環境にやさしいデザインに

### 再編パターン

複数案を比較検討した結果、下図の再編パターンを基に進めることとしました。



## < 基本計画について >

### 1 基本方針

適正配置計画に掲げる実現を目指す将来像『公共施設の新たな価値の創出“人が集い、市民交流を促す場を創造する”』、令和3年度に策定した一宮地区公共施設再編整備基本構想の『一宮地区の“地域の活動や多世代交流が促進”されるような拠点を創造するための考え方』、及び、ワークショップや住民説明会等が出された意見を踏まえ、以下の通りコンセプトと基本方針を定めます。

コンセプト

ふらっと Ichinomiya

……「ふらっと<sup>いちのみや</sup>Ichinomiya」というコンセプトには、豊川から本宮山のふもとに広がる地域で、人と自然と町がつながる子どもからお年寄りが垣根なく「ふらっと」な関係を築ける学びと交流の場をつくり、いつでも気軽に「ふらっと」立ち寄れる場所でありたいという思いが込められています。

#### 【基本方針】

##### 方針1

**地域住民の交流や多世代交流によって、一宮地区における特色あるまちづくりを推進できる場**

- ◎市が掲げる「(仮称)一宮コミュニティネットワーク構想」の実現に寄与する機能として、地域住民の交流や多世代交流などが醸成されるような場を目指します。
- ◎特に、ワークショップや住民アンケートの結果を参考に、地域住民の声を活かした付加機能を盛り込み、地域のまちづくりに寄与する施設を目指します。

##### 方針2

**施設のコンパクト化と効率的な公共サービスの提供と併せ、新たな価値を提供する場**

- ◎公共施設の再編による施設の集約化、コンパクト化によって、従来の公共サービスを低下させることなく、財政負担の少ない効率的な公共サービスの提供を目指します。
- ◎豊川市公共施設適正配置計画のコンセプト「公共施設の新たな価値の創出“人が集い、市民交流を促す場を創造する”」に即し、新たな価値や魅力の創造に寄与する施設を目指します。

##### 方針3

**安全安心で人にやさしく快適に利用できる場**

- ◎本格的な少子・高齢社会の時代を迎え、公共施設の整備においても、より質の高い機能を備えた施設を目指すことが必要であり、特に、ユニバーサルデザインの視点にたち、人にやさしく快適に利用できるような施設を目指します。
- ◎耐震性に優れた安全安心な施設を目指します。
- ◎防災拠点として整備し、市民にとって安全・安心のよりどころとなる災害に強い施設を目指します。

##### 方針4

**循環型社会に対応した環境にやさしい場**

- ◎省エネルギー、環境負荷の低減を図り、低炭素社会・脱炭素化を推進していく施設を目指します。
- ◎計画地周辺の地域環境・自然環境と調和し、建物内外の関連性に配慮した施設を目指します。
- ◎財政負担の軽減や地球環境への配慮から、建物の保全に努め長期的に使用することのできる施設を目指します。

## 2 施設計画の考え方

### (1)導入機能

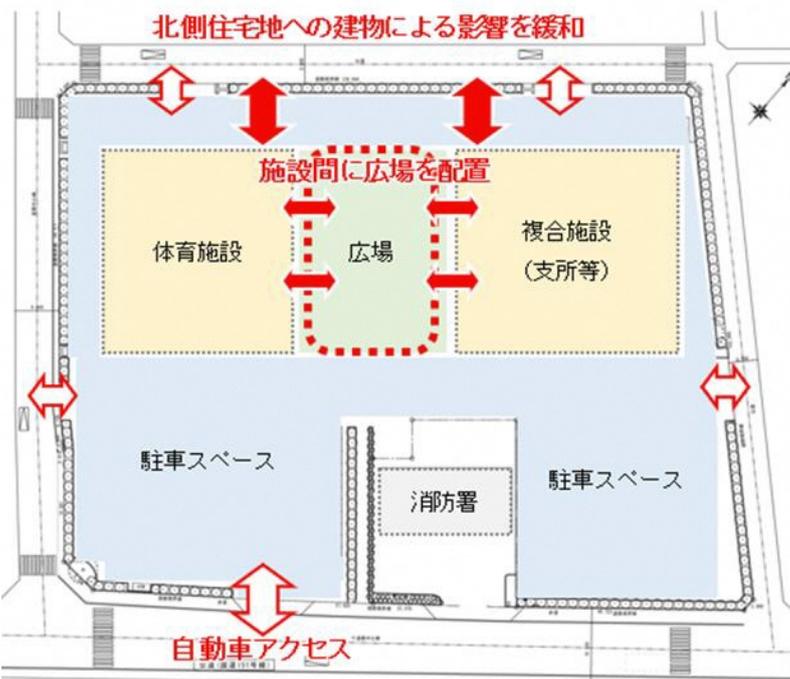
複合施設と体育施設を別棟で整備しつつ、両施設を一体的に利用することと仮定し、6つの機能と共用機能を併せて再編施設全体で約4,150㎡の規模と想定します。

機能名	規模設定	現状との比較
<複合施設> 約2,780㎡		
支所機能	約180㎡	60%
生涯学習・コミュニティ機能	約670㎡	68%
児童館機能	約400㎡	250%
図書館機能	約450㎡	225%
福祉相談・高齢者支援機能	約40㎡	14%
共用部分	約1,040㎡	—
<体育施設> 1,370㎡程度		
体育機能	約1,140㎡	48%
共用部分	約230㎡	—
合計	約4,150㎡	69%

### (2)全体配置・建物ゾーニング

施設の配置・ゾーニング、既存機能継続性、設計の自由度などの観点から比較検討を行い、敷地北側に「複合施設」と「体育施設」を配置する案として整理しました。

#### 【全体配置案】



#### 【体育施設ゾーニング(案)】



注)本ゾーニング案は、主な機能を具体的に配置するためのイメージで、この案を確定するものではありません。

また、建築基準法、消防法等関係法令等に準じて変わることがあります。

【複合施設(1階)ゾーニング(案)】



【複合施設(2階)ゾーニング(案)】



### 3 事業化計画

#### (1) 整備スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
基本計画策定	→							
基本設計		→						
敷地測量・ボーリング調査		→						
実施設計			→					
解体工事				→ ①	→ ②	→ ③		
複合施設(庁舎等)整備					→	★オープン		
体育施設整備							→	★オープン
外構工事					→		→	

注)①農業者トレーニングセンター管理棟等、②農業者トレーニングセンター体育館、③一宮庁舎等

注)体育施設については、解体してから新しい施設がオープンするまで(令和8~11年)利用できない期間がありますが、できる限り短縮できるよう今後も検討を続けてまいります。

注)これらは現時点の計画スケジュールであり、基本・実施設計において見直す場合があります。

#### (2) 概算事業費

種別	細別	金額(億円)
1 建築工事費	再編施設(複合施設、体育施設)	26.0
2 解体工事費	既設施設(一宮庁舎、農業者トレーニングセンター等)	5.0
3 外構工事費	敷地造成、舗装、排水、植栽、施設等	5.0
4 調査設計費	測量、ボーリング調査、基本設計、実施設計等	2.0
合計		38.0
	(税込)	41.8

注)事業費は、今後の資材費等の価格の変動により見直す場合があります。

## 一宮地区公共施設再編整備基本計画【概要版】

発行：令和5年3月 豊川市役所 総務部 財産管理課

〒442-8601 愛知県豊川市諏訪1丁目1番地

TEL:0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/index.html>

### 【表紙の写真】

豊橋技術科学大学建築・都市システム学課程3年生の皆様が、制作課題で一宮の新しい公共施設を考えてくれたものです。全7班のグループが、学生ならではの自由なアイデアで模型等を制作してくれましたので、その一部を掲載させていただきました。